

平成 29 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」（第 1 ブロック（平山除く））

開催日時	平成 29 年 10 月 16 日（月）午後 7 時から午後 9 時	天気 雨
場 所	山北第 2 児童館	
町民参加者	男 13 人 女 3 人 （60 代 7 人、70 代以上 9 人）	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、財務課長、総務防災課長、福祉課長、定住対策課長、環境課長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：空家等の対策について》

- 空家を利用した高齢者が気軽に立ち寄れる場所が必要である。行政と協力しながら地域から発信していきたいと考えている。
- この地域に限らず、空家を利用した拠点が必要である。数年前に山北駅周辺の空家を探したが、ネックになるのがお金の問題である。連合自治会長を中心に関係者及び町職員にも参加していただき話し合いの場を立ち上げていただきたい。
- 「ほたるの家」の利用状況はどうか。かつては、ホテルが多くいたが、現在ホテルがない状況である。向原の方々とホテルを復活させようと話し合いをしたので、町でも協力してホテルがいるようにして欲しい。用水路掃除の時にきれいに掃除をしすぎるのではないかと考えているので、ホテルがいなくなる程度に掃除をして欲しい。
- 高齢者が気軽に立ち寄れる場所について関係者で打合せをしたいと考えているので、町から連合自治会長に声掛けをしていただきたい。関係者と相談しながら意見をまとめていきたいので、連合自治会長には担っていただきたい。ほたるの家も含めて取り組んでいったら良いと思う。
- 町として空家の定義はどのように考えているのか。また、住んではいないが家財道具が置いてあり、物置として使用している場合は空家として考えるのか考えないのか。
- 空家の庭やさら地に雑草などが多く、空家などの所有者に連絡を取りたい時にはどのようにすれば良いのか。町は人口減少対策で色々な対策をおこなっていると思うが、町に訪れた方が空家や空地に雑草などが多く見られた時に住む環境として良くないという事で二の足を踏む方がいると思う。
- 防災行政無線が聞き取りづらいので、提案として、女性の声で放送して欲しい。放送の内容を必要なことだけを簡単に放送して欲しい。

○ぶなの湯に鏡がない。